

図1. BLV遺伝子検査

# 表1. BLV遺伝子検査

- sDNA抽出材料

	全血	白血球
前処理	不要	必要
抽出sDNA量	少ない	多い

作業効率は上がるが、得られるsDNA量が少ないため、  
遺伝子量が微量の場合検出できなくなる？

- sDNA濃度調整

	コンベンショナルPCR	r-PCR
sDNA濃度調整	不要	必要
遺伝子定量	できない	できる

検体中の遺伝子が微量の場合、sDNA量調整の希釈によって  
遺伝子が検出されなくなる恐れ

BLV抗体陽性率約40%の酪農・繁殖複合経営農場の牛33頭

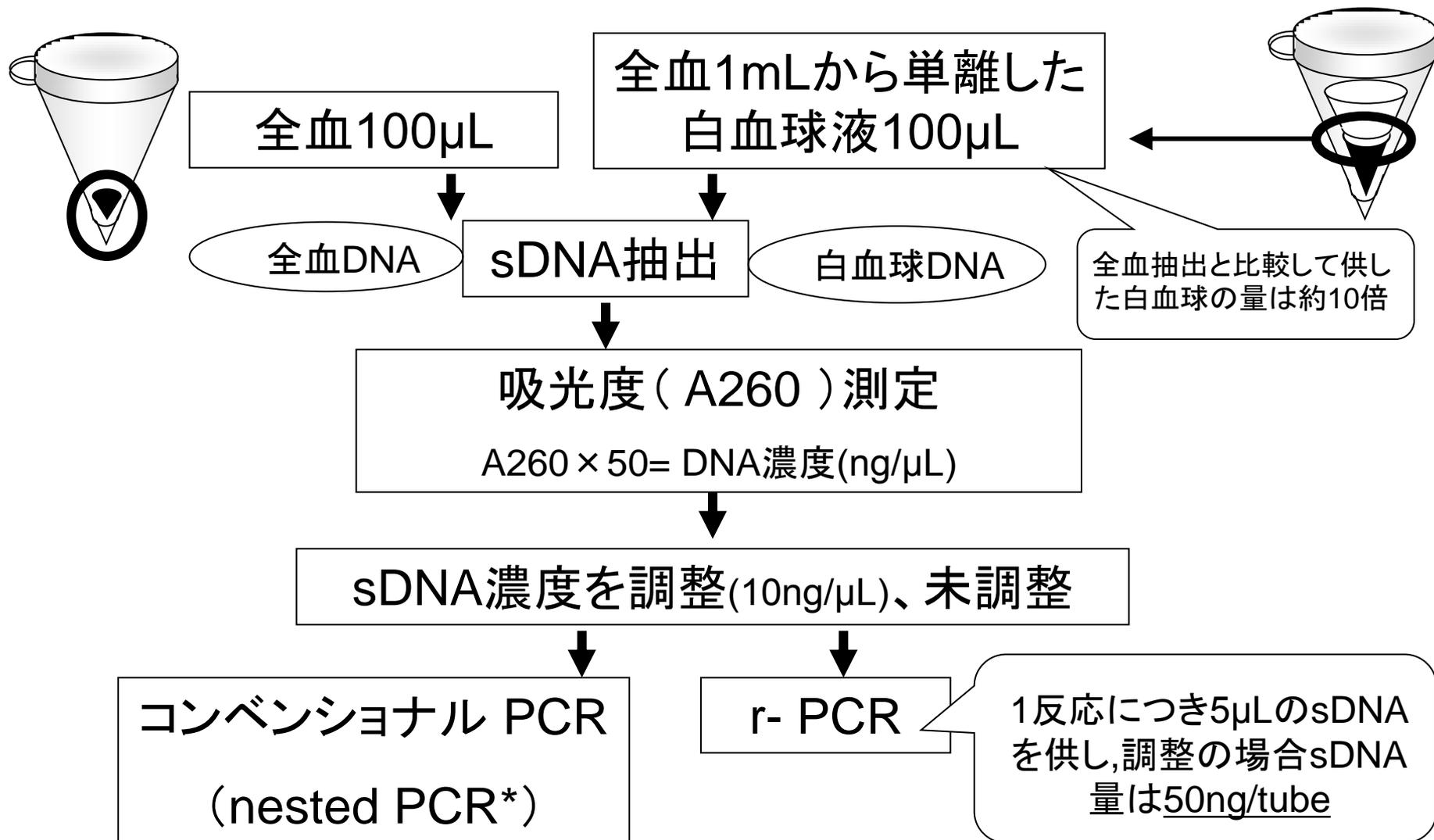


図2. 材料と方法

# 表2. 調査項目

	sDNA抽出材料			
	全血		白血球	
sDNA濃度	未調整	調整	未調整	調整
遺伝子検出 (nested PCR)	①	②	③	④
遺伝子定量 (r-PCR)	⑤	⑥	⑦	⑧

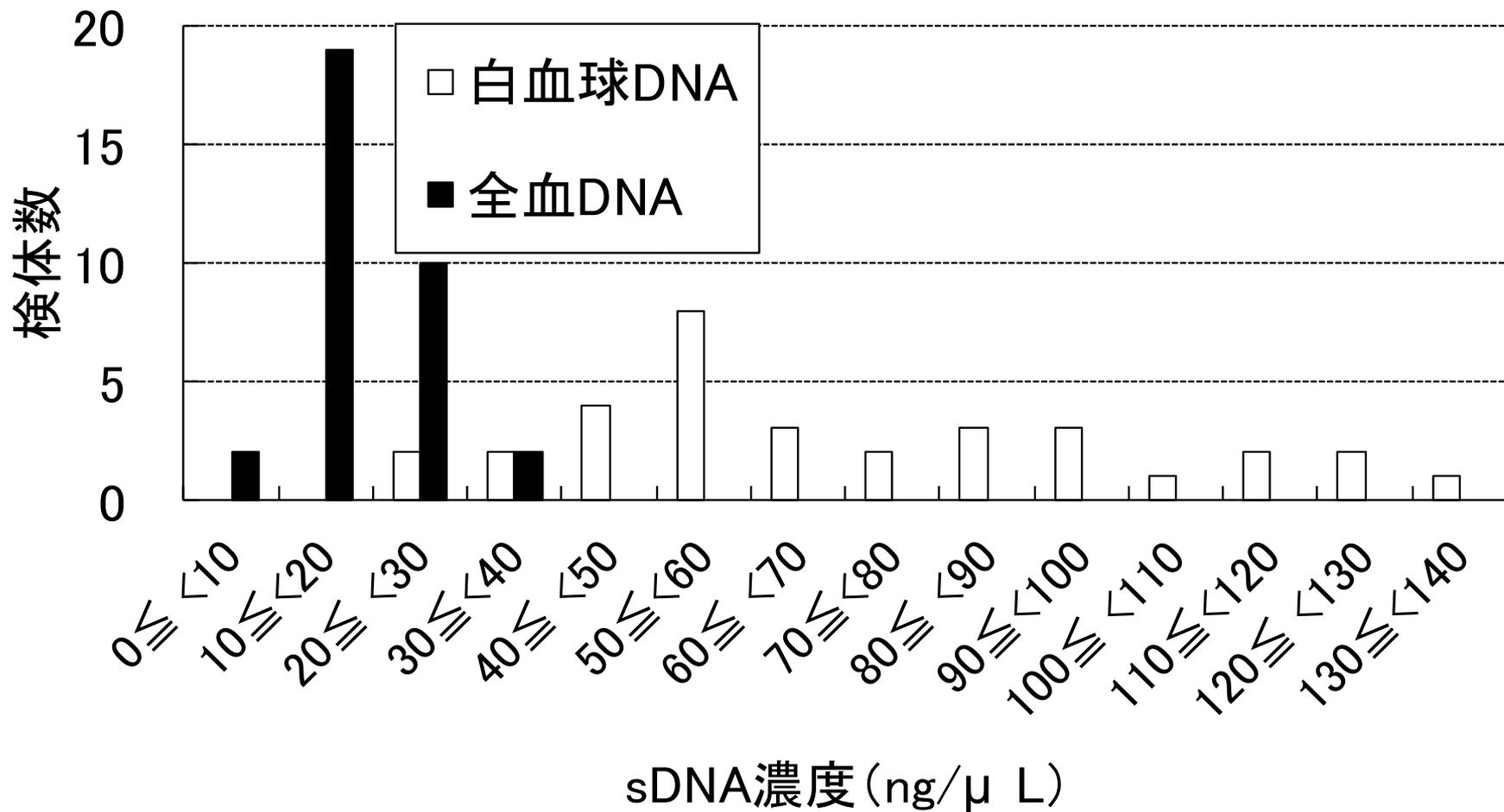
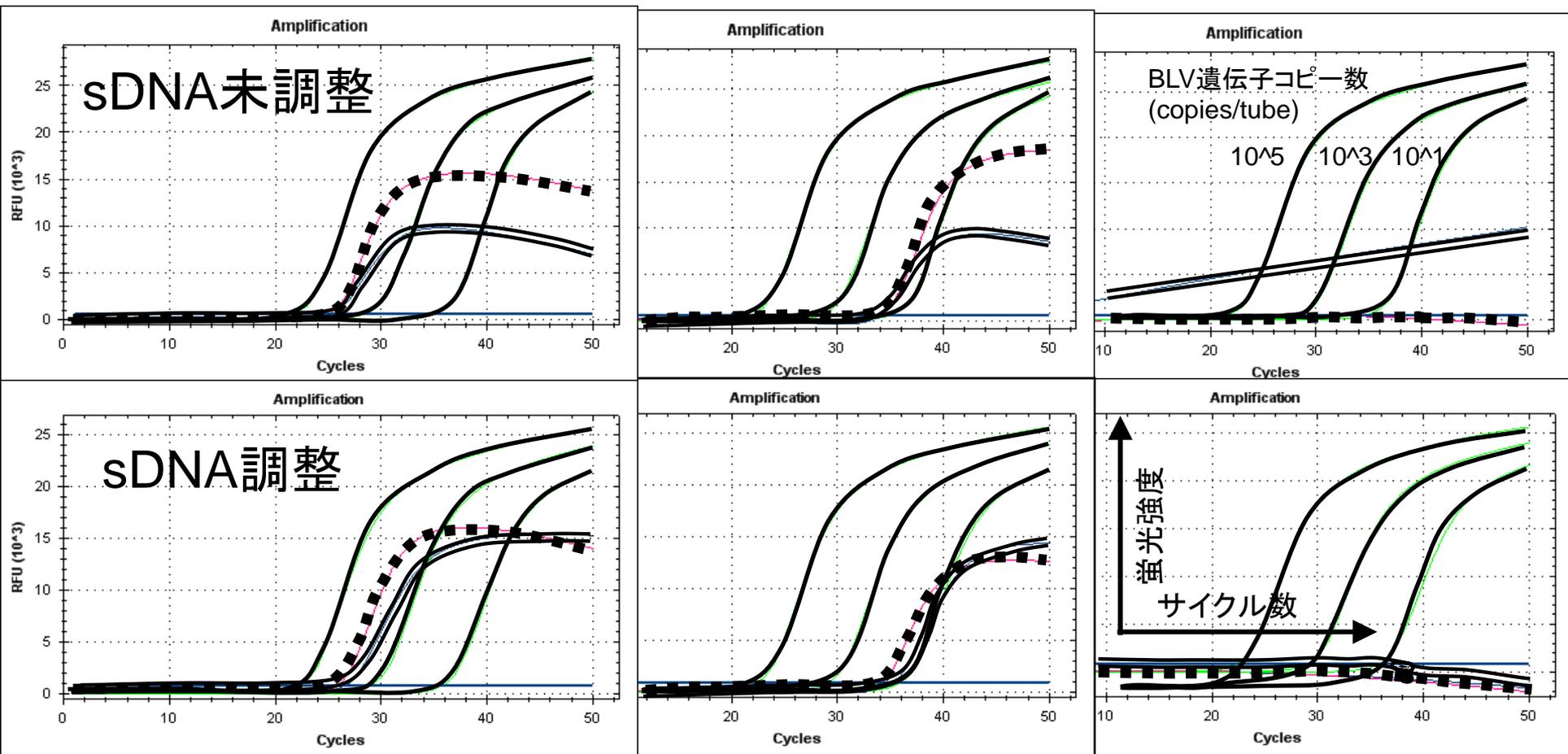


図3. 全血と白血球のsDNA濃度別検体数



No.12 陽性  
(遺伝子量多)

No.30 陽性  
(遺伝子量少)

No.4 陰性  
(遺伝子未検出)

図4. r-PCR 増幅曲線例

— 検量線  
 ..... 全血DNA  
 == 白血球DNA

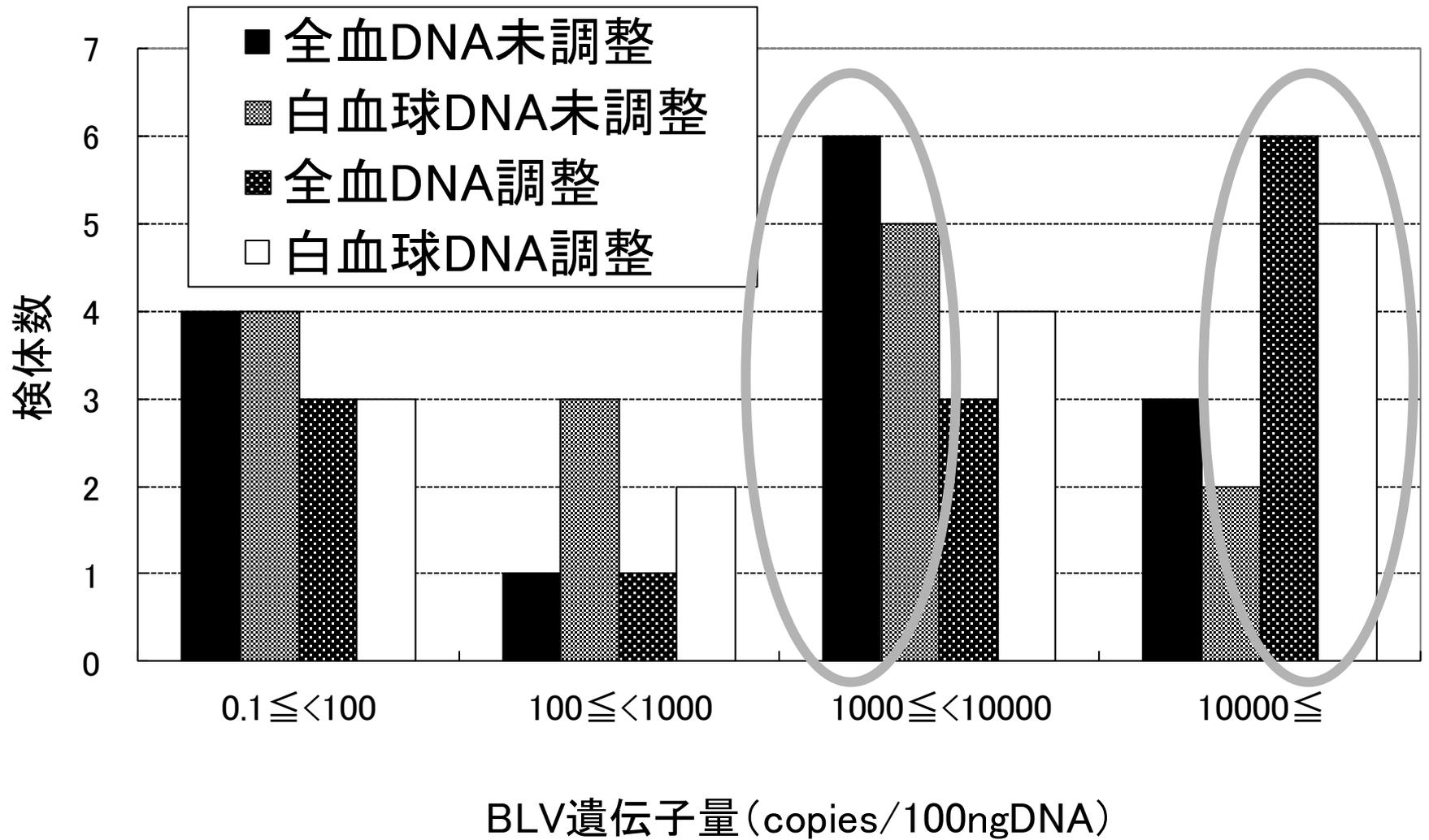


図5. BLV遺伝子量別検体数

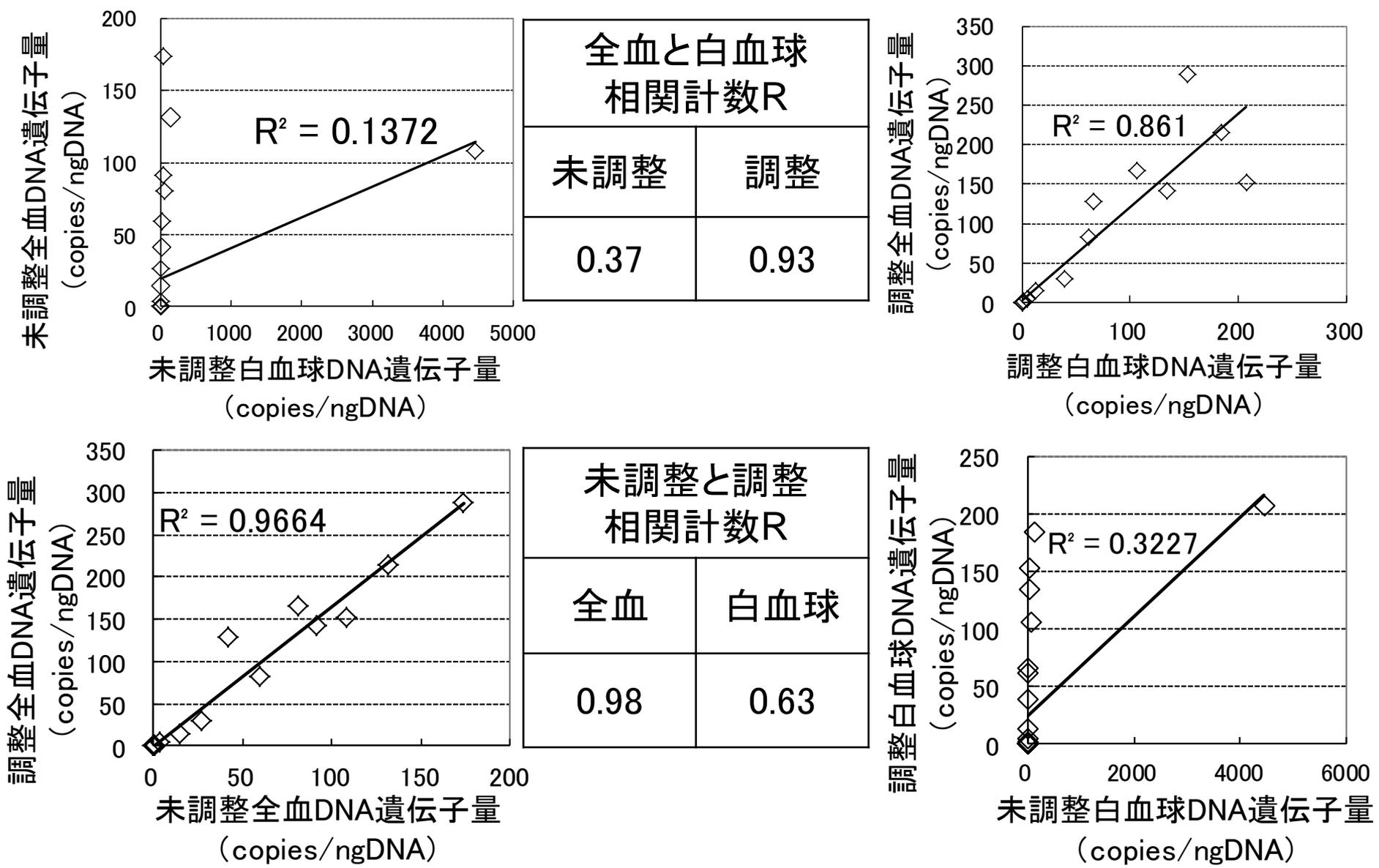


図6. BLV遺伝子量相関

# 表3. BLV遺伝子検出数

	全血		白血球	
	未調整	調整	未調整	調整
nested PCR	13	13	15	12
r-PCR	14	13	14	14

各種共通

# 表4. 違いのあった3検体の結果

		BLV遺伝子量 (copies/100ngDNA)			
検査法	検体 No.	全血		白血球	
		未調整	調整	未調整	調整
r-PCR	1	0.8	-	-	-
	2	-	-	0.7	4.4
	3	7.5	3.5	1.6	9.0
nested PCR	1	-	-	+	-
	2	-	-	+	-
	3	+	+	+	-

上記3検体は10copies/100ngDNA以下のごく微量の検体。

共通して陽性だった上記以外の12検体は全て各パターンで10 copies/100ngDNA以上。

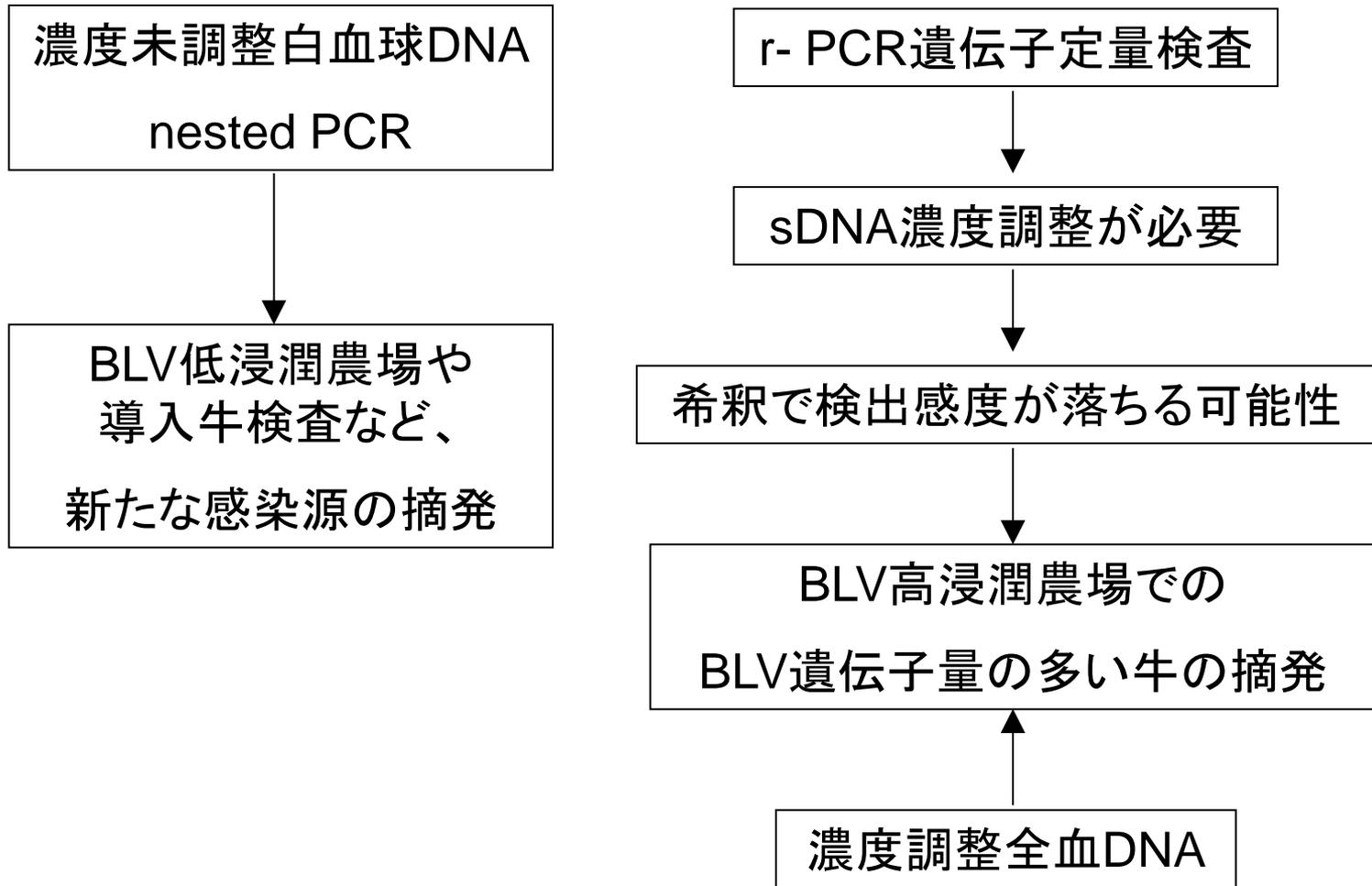


図7. 考察

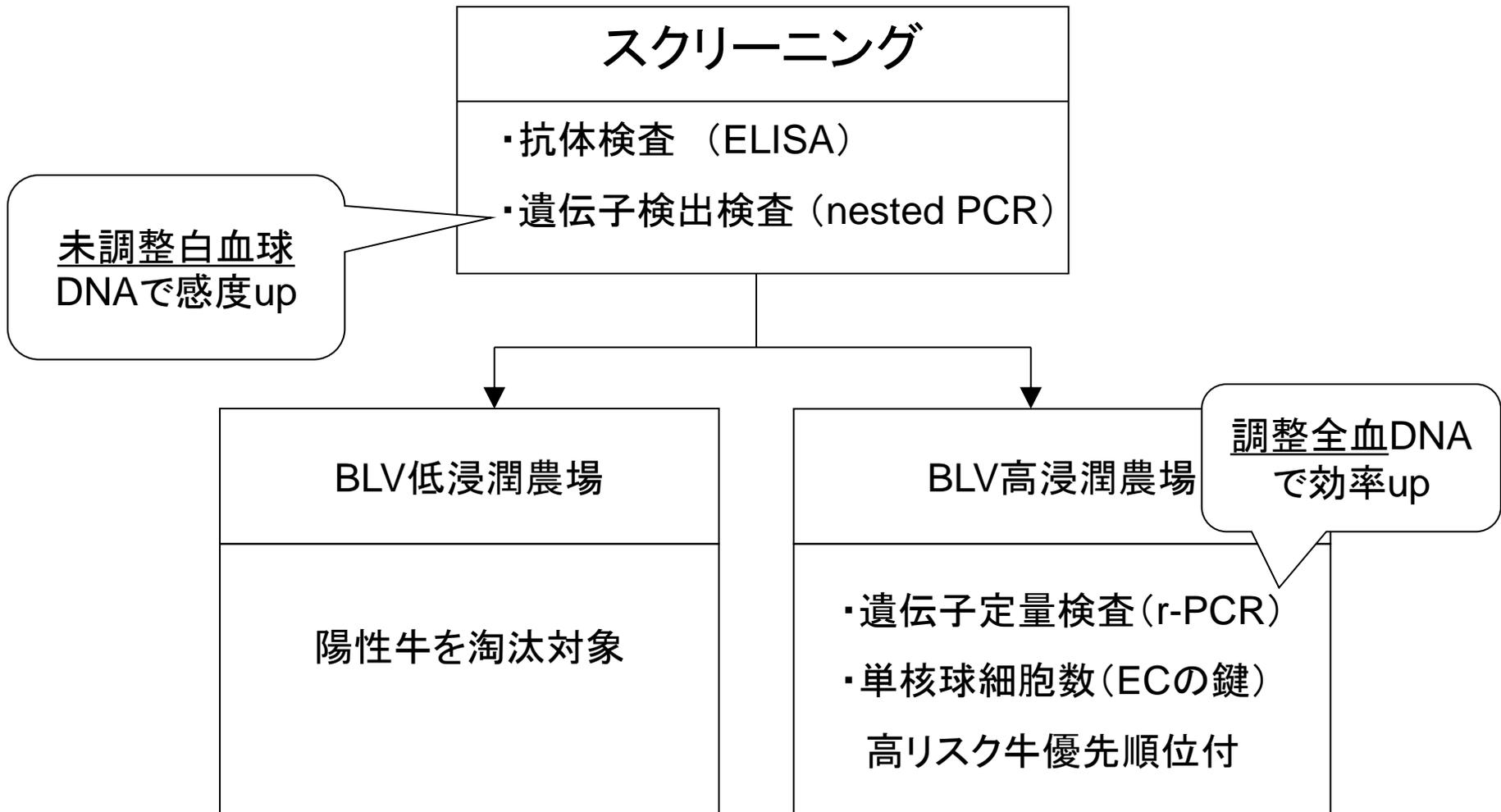


図8. 今後